

歯科材料06 歯科用印象材料
一般医療機器 歯科複模型用寒天印象材 70890000

ベゴ キャストゲル

【形状・構造及び原理等】

性状：ゲル状
成分：寒天、グリセリン、水
ISO 14356:2003のタイプ I に適合

項目	仕様
最高融解温度	93℃
注入温度	42℃

【使用目的又は効果】

寒天を主成分とする印象材で、主として複模型の作製に用いる。
りん酸塩系埋没材に使用可能。

【使用方法等】

- 1) 融解
本材を約1cm角の大きさに切断します。
本材の融解温度は93℃です。
①寒天溶解器をご使用の場合
ご使用の寒天溶解器の取扱説明書に従ってください。
・指定された温度に調整可能な機器であること。
・指定された温度範囲を遵守できる機器であること。
・温度ディスプレイと実際の温度が一致している機器であること。
※本材のご使用には、弊社寒天コンディショナー「ゲロビット 200」のご使用をお勧めします。
②手鍋をご使用の場合
必ず、間接加熱（湯煎）を行い攪拌しながら融解します。
熱源にコンロ、ホットプレート及び電子レンジ（400g：400W～4分）をご使用の際は、鍋底部分のみが沸点に達することのないよう、本材をかき混ぜながら加熱してください。
・融解に使用する容器は、ご使用の熱源に適した容器をご使用ください。
・本材の劣化を防ぐため、融解温度の93℃を超えすぎないよう、また、1分以上その温度が保持されないこと。
- 2) 冷却・保温
寒天溶解器を使用する場合は、保温温度42℃に設定し、冷却・保温します。
手鍋で融解する場合は、42℃になるまで室温放冷します。
- 3) 寒天型取り
石こう模型は38℃の温水中に約5～10分間浸漬し、予め吸水させます。その後、布で模型の水分を拭き取ります。
融解・保温状態の本材を、石こう模型を配置した寒天用フラスコに流し込みます。注入温度は42℃です。
また、ご使用のワックスの融点が注入温度と近い場合等、注入温度を39℃まで下げてご使用いただくことも可能です。
- 4) 冷却及び模型・流し込み義歯作製
42℃の本材をフラスコに流し込んだ後、室温で60～90分放冷します。
流し込んだ本材の型から、模型を丁寧に取り外します。
必要に応じてエアで本材の印象面の水気を除去してください。
①耐火模型の製作
ご使用の埋没材の添付文書に従い埋没材を混ぜ、気泡が入らないように本材で作製した型に流し込みます。
耐火模型硬化後（メーカーのデータ参照）、模型を慎重に型から取り外してください。
- 【使用方法に関連する使用上の注意】
1) 印象面に残留した付着水分は、複模型の面荒れの原因になるため、耐火埋没材を流し込む前にエア等で付着水分を充分取り除いておくこと。
2) 本材に付着した埋没材は、水で洗浄し取り除いておくこと。取り除けない場合は、その部分を廃棄すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意
①融解、保存中及び流し込み時に本材が皮膚等に付着すると低温火傷を引き起こすことがあるため、取扱いに注意すること。
- 2) 重要な基本的注意
①本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
②本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

- [保管方法]
・本材は密封し、室温で保管すること。
・使用後、再融解までは寒天溶解器に投入して保管するか、密封容器に入れ保管すること。
・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- [使用期限]
本体に記載の使用期限までに使用すること。
〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。〕
記載方法：0000-00は
使用期限 0000年00月を示す

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

- 製造販売元：株式会社ニッシン（選任製造販売業者）
住所：〒621-0001
京都府亀岡市旭町樋ノ口88
ホームページ：www.nissin-dental.jp
製造元：ベゴ プレマ ゴールドシュレーゲライ
ウイルヘルム ヘルプスト ゲ エム ベ
ハ ウンド コ カゲ
BEGO Bremer Goldschlägerei Wilh.Herbst GmbH & Co.KG
- 国名：ドイツ
販売元：株式会社アイキャスト
電話番号：0120-228582（フリーダイヤル）
電話受付時間 月～金（祝日を除く）
午前10:00～12:00 午後1:00～5:00